

がんばれ3年生！先輩たちの言葉

センター試験を間近に控えて、3年生は真剣に学習に取り組んでいると思う。そんな3年生にふさわしい言葉を「進路の手引き」からを抜き出してみた。1～2年生も読んでほしい。(『進路の手引き』より抜粋)

■受験だけを目的に勉強するのはつまらなかったの、自分の教養を深めてやろうという気持ちで取り組みました。「勉強を楽しむ」という姿勢が大切です。

■大切なのは志望校を下げないということです。一度志望を下げると、なし崩し的に意欲が低下していきます。

■精神的にきつい時はみんなと一緒に頑張ることを勧めます。学校で友達と会って、一緒に弁当を食べて、ぎりぎり精神面を保つことができました。

■11月になって成績が伸び始め、それからは無我夢中でまさに「本気」の自分を感じた。あの時の「本気」がなかったら志望校に落ちていたと思う。

■空いている時間を有効に使うことで、まわりの受験生に遅れをとらなかった。

■部活や行事に没頭することも大切。そこで鍛えた精神力ややりきる力が、必ず受験に役立ちます。

■模試判定はすべてEでしたが、そんな私でも頑張れたのは、1年生の時から定期テストや小テストを出来る限り頑張ってきたからだと思います。

■行事がすべて終わってからは毎日自習室にこもって死に物狂いで勉強しました。こういう風でできたのは行事を一生懸命やり、その気持ちがすぐに勉強に切りかえられたからだだと思います。今となってはこの受験期間はとてもいい思い出です。

■「最後まで諦めないで、きちんと勉強をし続ける」これが自信につながり、合格につながりました。絶対に妥協しないで、第一志望を目指して下さい。

■2年から受験を意識したので現役合格できたのかなと思います。

■いろいろな本に手を出すよりも、今持っている問題集を何度も繰り返して完璧にする方が絶対に有利です。

■受験で最も大切なことは基礎を徹底的にやり、完璧にすることだと思いました。

■卒業する時に「頑張った！」と思えるような濃い高校生活を送ってください。



さて、この時期の学習法をまとめておこう。

○センター対策にこだわらない。(重要！)

センター試験は最終目的ではなく、あくまで「通過点」に過ぎない。センター対策ばかりしていると、一般入試や国公立二次対策がおろそかになってしまう。センターが終わってからでは間に合わないの、今のうちからセンター対策と平行して行おう。

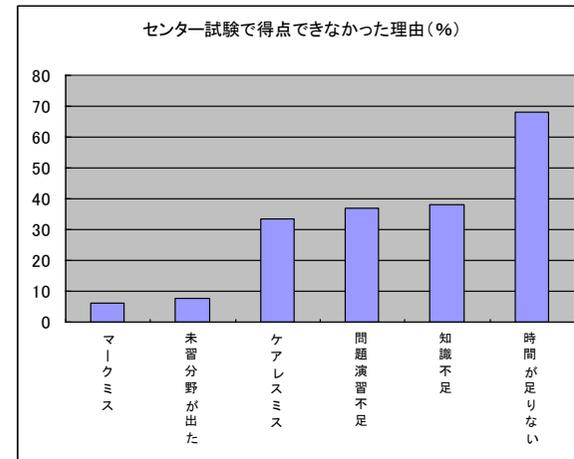
○基礎固めを忘れない！

難問は点差が開かないので合否に大きく影響しない。合否を決定づけるのは易しい問題や標準問題がきちんとできたかどうかだ。本番が迫っても基礎を反復することが大切だ。

○東進予備校の資料から「センター試験で得点できなかった理由」を紹介する。

トップの「時間が足りない」で、**センター対策は「早く解くこと」と「時間配分」が大切である**と気付くだろう。これにはセンターの問題を何度も解いて慣れておくことが大切だ。

続いて「勉強不足」「問題演習不足」とあるのは当然だとして**「マークミス」が6%もある**ことに留意しよう。実は、本校でも転記ミスやマークミスで涙を飲んだ人が意外に多いのだ。単純なことだが、これからはマークの仕方や転記の練習もしておいた方がいい。



本当にあった笑えない話(毎年更新中)

センター試験が迫ってきたが……「あと()日しかない」ではなく「あと()日もある」と思って、前向きに取り組もう。受験はメンタル面が大きく作用するので、意識して気持ちを落ち着かせた方がいい。受験は誰でも緊張するものだが、あせると思わぬ失敗をするものだ。例えば、こんなことが以前にあった……



CASE 1 センター試験当日、学校に一番早く来た先生が生徒玄関にいる3年生を発見。「どうしたの」と聞くと「受験票、教室に忘れて取りに来ました」とのこと。その人は受験会場が近かったのに間に合ったそうだ。

CASE 2 試験の前日、ある生徒が担任の先生に「すみません、受験票なくしちゃいました。ぼくの試験会場どこですか?」「あんな〜」幸い、先生が全員の会場を控えていたので、無事受験ができたとのこと。

CASE 3 私大の入試日。朝寝坊した某君は、何を思ったか駅に向かう途中、やってきたタクシーに乗って試験会場へ。「いや〜、ギリギリで間に合いましたが、道が渋滞しててあせりましたよ。それにタクシー代が1万円もかかっちゃいましたし」「……」電車の方が早く着けるのは当たり前。

CASE 4 指定校推薦で第一志望校に受かったある生徒は大喜び。保護者も舞い上がってしまい、期限までに入学金を

払うのを忘れてしまった。「先生、どうしましょう…」学校から連絡して、何とか許可してもらったが、一般入試ならず無理だった。入学手続きで失敗する人がたまにいるので要注意！

CASE 5 某君はセンター試験の最中、エアコンの音が気になって試験に集中できず、試験が終わってから係員にクレームをつけたが、騒音検知器で調べたところ既定の範囲内だったので、何の措置もされなかった。会場や座席の関係で万全のコンディションではない場合もあるが、気になったら試験前に言うこと。試験が始まったら、残念ながら我慢するしかない。

受験の頃は様々なアクシデントがあるので、準備は万全に！

3年生は冬休みの土日を使ってセンター試験の会場に行き、経路や時間を確認しておいた方がいい。そうすると、当日落ちついて試験に臨むことができる。

ちなみに、今年の会場は6か所。絶対に間違えないように！数字は人数。

**東京学芸大11 一橋大(国立東)57 一橋大(国立西)59 明治薬科大24 津田塾大50
東京経済大35**

連絡

1年生 1/18(木)ベネッセ記述模試

2年生 1/17(水)新3年スタート集会 1/18(木)センター同日試験

3年生 1/4(木)~7(日)センターマラソン 1/13(土)~14(日)センター試験

国公立を受験する人は、センターが思うようにできなかった場合のことを考えて、事前にシュミレーションをしておくこと。センターの結果が出てから「さあ、どうしよう？」では遅い。

サンデー毎日別冊『大学入試に勝つ！』という本によれば、本校の難関大現役**進学率**は39.3%で、なんと都立高校トップだった！（この本による難関大とは、旧帝大+早慶+MARCH）約4割の人が難関大に進学しているのは、すごいことだ。みんなも後に続いてほしい。

ちなみに、都立トップ5は2位国際34.7%、3位青山32.9%、4位小石川32.5%、5位日比谷32.1%だった。

そもそもセンター試験て何？ 1~2生必読！

Q. なぜセンター試験を受けるの？

A. 大まかに言って以下の理由から。

- ・国公立大を受験するには必須。8割以上の私大にセンター枠がある。
- ・入試はまずセンターからというのが一般的。
- ・受験の機会が増えれば、志望校への合格可能性が高まる。安全校の確保もできやすい。
- ・一般入試の前にあるので、受験慣れができる。（これは大きい）

・私大の出願は、短冊のような成績請求票を願書に張り付けるだけでよい。つまり、一度センター試験を受けていれば、何校でも出願できる。もちろん、個別試験を受ける必要もない。（ただし、早稲田等、一部の大学では個別試験を課す場合もある）

Q. センター試験で何点取ればいいの？

A. 国公立全体の受験者を見ると、合格者の平均は75%の得点率。5教科6科目800満点で600点前後。得点率60%強の500点前後から合格者が出始め、600点前後（75%）から急増する。農工大や学芸大を考えている人は75%は取るようにしましょう。私大の場合は学部にもよるが、早慶上智で90%以上、MARCHクラスで80~85%はほしい。ただし、2~4教科型が多いので、早慶はとにかくMARCHクラスならば努力次第で何かなるはずだ。

Q. 私大のセンター入試は？

A. 現在私大の8割以上にセンター利用枠がある。指定科目は2~4教科型が多く、願書を出すだけで何校も受験できる。ただ、出願がセンター前日までという大学が多いので、注意が必要だ。

閑話休題

センター試験ともなると、保護者の方も気になるもの。今回はツイッターから保護者の声を拾ってみた。みんなが多くの人に支えられていることを知ってほしい。



今日から娘、センター試験！緊張はしてないみたい(ω^ω)私の方がソワソワしてる(笑)全力を出し切って頑張っ欲しい。親は見守る事しか出来ないけど夢に向かって頑張る姿。青春だね羨ましく思えるよ(´◡`)(*)♡



とうとうセンター試験ですね。思いがけなく明るく出かけて行きました。本番ハイかな。母として何か一言と思いましたが、急に良き母を演じるのもなんかね~と思い、いつもの感じて「元とってきてね~」と。「ラジャー」トラブルがありませんようにと願うことしかできませんが。



息子が 今日からセンター試験です。親は見守る事しか出来なくて…悔いの無い様に出来るといいんですが 祈るばかりです。



おはようさん♪センター試験に出掛ける息子を、やっと送り出しました。今朝は平気な顔しつつ、お弁当作りからドキドキでした。今までの頑張りが実ってくれることを願うばかりです(*^-^)/♪



お母さんは毎日5時に起きてお兄ちゃん起こしてお弁当作って朝はマッサージして…センター試験1日め「今まで手厚い準備ありがと、頑張ります」って言って家出て行った。見直シタァ…お兄ちゃん頑張れ絶対大丈夫！